

募集要項

【研修名】 厚生労働省委託事業 「リンパ浮腫研修」

【コース】

コース1 Step1 と Step2 を通して受講（4日間）【定員：200 名】 参加費 20,000 円

コース2 Step1 のみ受講（2日間）【定員：50 名】 参加費 10,000 円

【申込方法】

①ライフプランニングセンター(URL: <http://www.lpc.or.jp/>)⇒ ②がんのリハビリテーション⇒ ③セミナーのご案内 の順でクリック
「がんのリハビリテーション実践セミナー」 URL: <http://www.lpc.or.jp/reha/information.html>
「厚生労働省委託事業 平成25年度 リンパ浮腫研修」の申込みフォーマットにそって、お申込み下さい。

※申込みには下記の項目が必要です。(①～⑩は必須)

- ①メールアドレス(一人ひとつ)、②受講コース、③申込者氏名・フリガナ、④施設名、⑤所属部署、
⑥職種、⑦経験年数、⑧施設郵便番号、⑨施設住所、⑩電話番号、⑪内線番号

＜申込時の注意＞

- ①お一人1メールアドレスでお申込み下さい。(一つのメールアドレスでの複数名の申込みは不可)
②ドメイン指定受信またはアドレス指定受信の設定をしている方は、下記ドメインからのメールも受信できるよう、設定してください。【ドメイン名:@lpc-kenshu.com】

【締 切】 平成 25 年 10 月 11 日(金) 12:00 まで

【受講可否】

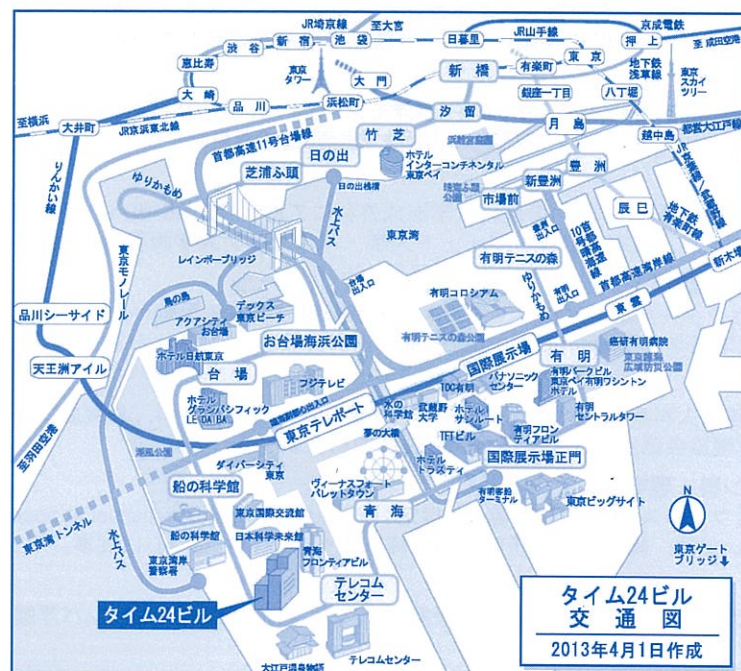
平成25年10月15日(火)～18日(金)の間に、順次申込みいただいたメールアドレスにご連絡いたします。

【受講費の支払い方法】

受講が決定した方には振込用紙をお送りしますので、10月31日(木)までに、参加費のお振込みをお願いします。
入金確認後、申込み完了となります。(※お申込み完了後の返金はできませんので、ご了承ください)

【参加証など】 参加証、参加要項は本年 11 月中旬ごろ発送いたします。

【会場地図】



ゆりかもめ

新橋駅 約18分
豊洲駅 約12分
テレコムセンター駅 下車徒歩約2分
タイム24ビル

バス

門前仲町(都バス 海01系統) 約40分
浜松町駅(都バス 海01系統) 約30分
東京港合同庁舎 下車すぐ
タイム24ビル

【本研修の間合せ先】
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館5階
電話:03-3265-1907 FAX 03-3265-1909
一般財団法人 ライフ・プランニング・センター
「リンパ浮腫研修」係
受付時間 祭日を除く 月～金 9:00～17:00

研修募集

平成 25 年度 厚生労働省委託事業

リンパ浮腫委員会研修要綱準拠「新・リンパ浮腫研修」

実施：一般財団法人ライフ・プランニング・センター

リンパ浮腫のエキスパートが担当する、
医療専門職（医師・看護師・理学/作業療法士等）にむけての
リンパ浮腫の理解と適切な指導のための基本研修会（リンパ浮腫研修要綱準拠）

Step1 2013 年 11 月 30 日(土) / 12 月 1 日(日)

リンパ浮腫の全体像を理解し、診断から治療計画
立案まで行える

Step2 2014 年 2 月 1 日(土) / 2 月 2 日(日)

各科の疾患の特徴を理解し、患者の状態を評価し、
適切な患者指導が行える



【研修のねらい】

がん治療後の続発性リンパ浮腫は、全リンパ浮腫患者の約 80～90%を占めています。本疾患は適切な治療がなされず放置されると徐々に進行することが多く、浮腫の悪化による仕事や家事への支障や容姿的な苦痛など、患者の QOL を著しく低下させる切実な問題です。

しかし、リンパ浮腫の病態を十分に理解して発症早期から適切な生活指導・治療を行えば、それ以上の悪化を防止することができるばかりか、進行例であっても浮腫を改善させることが可能です。

リンパ浮腫の治療を行うためには、その病態生理や診断方法、治療法に関する理解、治療効果の判定方法、実際の外来運営方法等、職種や立場に応じたさまざまな知識や技能が必要ですが、専門的にリンパ浮腫に関する研修を行っている医療機関はごく限定されています。

本研修はリンパ浮腫のエキスパートの講師が、リンパ浮腫の診療に携わる医師、看護師、理学療法士、作業療法士等の医療専門職を対象に、本委員会で作成したリンパ浮腫研修要綱に準拠した内容の初めての研修会です。

なお、本研修を受講すると、国際リンパ学会により推奨されている座学(45 時間以上)の大部分が習得でき、その後の実習(90 時間以上)の継続性が担保されます。

【会場・全日】

東京ビッグサイト タイム 24 ビル 東京都江東区青海 2-4-32 (URL: <http://www.tokyo-bigsight.co.jp/time/>)

【参加費用】

コース1 Step1 と Step2 を通して受講（4日間）【定員：200 名】 参加費 20,000 円

コース2 Step1 のみ受講（2日間）【定員：50 名】 参加費 10,000 円

【Step1】リンパ浮腫の全体像を理解し、診断から治療計画立案まで行える

1 日目/リンパ浮腫の基礎を学び、その成因を理解し、鑑別ができる

2 日目/リンパ浮腫の治療の実際を把握できる

日 時			時間	講 義 内 容	講 師	目的と到達目標
11 月 30 日 (土)	1	9:00-10:20	80	リンパ浮腫総論(発症機序、発症の要因)	宇津木 久仁子	リンパ浮腫の全体像を理解する
	2	10:30-11:40	70	解剖学	佐藤 達夫	リンパ浮腫の病態を解剖学的視野から理解する
	3	11:50-13:00	70	生理学	齊藤 幸裕	リンパ浮腫の病態を生理学的視野から理解する
	4	13:40-14:30	50	リンパ浮腫の診断	岩田 博英	リンパ浮腫の診断に必要な知識を理解する
	5	14:40-15:50	70	脈管学、循環器系疾患	松尾 汎	リンパ浮腫の病態を脈管学的視野から理解する
	6	16:00-17:10	70	治療理論と治療選択肢	山本 優一	複合的治療の概念と個々の選択肢の方法ならびに適応を理解する
	7	17:20-18:50	90	リンパ浮腫指導管理	増島 麻里子	リンパ浮腫指導管理料や制度について理解する
12 月 1 日 (日)	1	9:00-10:30	90	診療の実際(1)早期発見、介入時期、治療選択、治療禁忌など	小川 佳宏	実際に患者を診る際の必要事項を理解する
	2	10:40-12:10	90	圧迫療法の選択と弾性着衣の装着指導、用手的リンパドレナージ	上田 亨 尾崎 福富	弾性着衣の装着指導、多層包帯法、MLD、SLDを理解する
	3	12:50-14:20	90	診療の実際(2)体重管理、運動療法	高倉 保幸	患者自身が取り組むべきこと、してはいけないことを理解する
	4	14:30-15:20	50	チーム医療の実践法とクリニカルパス	田尻 寿子	医師とコメディカルの連携の仕方を理解する
	5	15:20-16:20	60	確認テスト	* 確認テスト過程まで受講された方のみ Step1 修了書を発行いたします	

【講師紹介】

■宇津木 久仁子 公益財団法人 がん研有明病院婦人科 副部長

83 年山形大学医学部卒業。同大学医学部付属病院産婦人科勤務後、89 年～91 年、米国ベイラー医科大学フェロー。91 年に山形大学医学部付属病院産婦人科助手、94 年よりがん研病院勤務。11 年より現職。

■佐藤 達夫 学校法人 花田学園 東京有明医療大学 学長

63 年東京医科歯科大学医学部卒業。70 年東北大学助教授を経て、74 年東京医科歯科大学教授。95 年同大学医学部長。03 年東京医科歯科大学名誉教授。04 年帝京平成大学教授を経て、09 年より現職。

■齊藤 幸裕 旭川医科大学血管外科 助教

96 年旭川医科大学医学部卒業。第一外科（現血管外科）に入局後、07 年に同大学大学院を修了、12 年同大学助教。13 年 1 月より同大学附属病院にリンパ浮腫外来を開設、リンパ浮腫診療にあたっている。

■岩田 博英 愛知医科大学血管外科 講師

88 年名古屋大学医学部卒業。同大学第一外科（現血管外科）に入局後、98 年にノースカロライナ大学留学。00 年より東海病院にて故平井正文先生の指導下に圧迫療法の研究に従事。05 年より現職。

■松尾 汎 医療法人松尾クリニック 理事長

73 年広島大医学部卒。同年大阪大学医学部附属病院精神神経科、淀川キリスト教病院内科等を経て、85 年国立循環器病センター内科入職。88 年同医長就任。00 年松尾循環器科クリニック。07 年藤田保健衛生大客員教授。10 年から現職。

■山本 優一 公益財団法人 仁泉会 北福島医療センターリハビリテーション科 科長

01 年東北文化学園専門学校理学療法科卒。03 年から現職。乳癌及びリンパ浮腫を担当する。08 年から東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科理学療法学専攻非常勤講師兼務。10 年ドイツにて Hans Pritschow 氏に師事し臨床経験を積む。

■増島 麻里子 千葉大学大学院看護学研究科 准教授

87 年千葉大学看護学部卒。国立がん研究センター中央病院勤務、千葉大学大学院助教を経て、09 年より現職。04 年、日本医療リンパドレナージ協会認定セラピスト（中級）取得。リンパ浮腫予防指導の重要性について、普及活動を行っている。

■小川 佳宏 リムズ徳島クリニック 理事長

89 年徳島大学医学部卒業後、リンパ浮腫診療に携わり、00 年リムズ徳島クリニック開業。診療の傍ら、疾患としてのリンパ浮腫の認知や発症早期の治療の重要性について、普及活動を行っている。

■上田 亨 リムズ徳島クリニックリハビリテーション科 理学療法士 リンパ浮腫療法士

97 年国立普通寺病院附属リハビリテーション学院理学療法科卒業後、01 年より現職。同院入職以来、リンパ浮腫患者の治療に関わっている。06 年日本医療リンパドレナージ協会認定セラピスト（中級）取得。

■尾崎 福富 日本脈管アプローチ研究所 理学療法士

86 年国立普通寺病院附属リハビリテーション学院卒。98 年フェルディススクールに留学後、日本初のリンパ浮腫専門病院の開設に携わったほか、リンパ施術手技の普及に関わっている。

■高倉 保幸 埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科 教授

84 年国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院を卒業後、同年癌研究会附属病院勤務。99 年埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション科統括責任者を経て、07 年より現職。

【Step2】各科の疾患の特徴を理解し、患者の状態を評価し、適切な患者指導が行える

1 日目/リンパ浮腫と関わる疾患の理解、各科の特徴を把握できる

2 日目/患者の状態を理解し、患者指導ができる

日 時			時間	講 義 内 容	講 師	目的と到達目標
2 月 1 日 (土)	1	9:00-10:20	80	婦人科がん	佐々木 寛	婦人科がんに対する治療の概要、術後のリンパ浮腫の病態、実態を理解する
	2	10:30-11:50	80	乳がん	北村 薫	乳がんに対する治療の概要、術後のリンパ浮腫の病態、実態を理解する
	3	12:30-13:50	80	泌尿器、下部消化管、その他の悪性腫瘍、皮膚科・形成外科領域治療後の浮腫	河村 進	泌尿器がん、下部消化器がん、皮膚がんその他のがんに対する治療の概要。これらのがん治療で生じるリンパ浮腫の病態、実態を理解する。
	4	14:00-15:00	60	小児領域のリンパ管異常	田口 智章	小児領域におけるリンパ管異常の病態、実態を理解する
	5	15:00-15:40	40	原発性リンパ浮腫	齊藤 幸裕	原発性リンパ浮腫の概要とそれぞれの病態、実態を理解する
	6	15:50-17:10	80	リンパ浮腫の外科治療	光嶋 勲	外科治療の種類、適応、限界を理解する
	7	17:20-18:20	60	基本的緩和ケアの理解	岩瀬 哲	リンパ浮腫患者に対する社会心理的介入の必要性と実際の方法について理解する
	8	18:20-18:50	30	セルフケア指導-1	奥 朋子	日常生活上の注意とセルフケアの適用範囲を理解する
2 月 2 日 (日)	1	9:00-9:50	50	セルフケア指導-2	満田 恵	日常生活上の注意とセルフケアの適用範囲を理解する
	2	9:50-10:50	60	スキンケア	作田 裕美	スキンケアの具体的な方法を理解する
	3	11:00-12:00	60	終末期における浮腫のケア	小川 佳宏	進行がん患者・終末期緩和ケア領域における治療の適応と限界を理解する
	4	12:40-14:00	80	診療ガイドラインとEBM	北村 薫	統計の基礎知識とEBMに基いた診療ガイドラインを理解する
	5	14:10-15:30	80	ケーススタディ	廣田 彰男	症例に応じた治療の実際を理解する
	6	15:30-16:30	60	確認テスト	* 確認テスト過程まで受講された方のみ Step2 修了書を発行いたします	

■田尻 寿子 静岡県立静岡がんセンターリハビリテーション科 副技師長

89 年名古屋大学医療技術短期大学部作業療法学科卒。慶應義塾大学 月が瀬リハビリテーションセンター等を経て、02 年より現職。主に乳がん、婦人科がん、頭頸部がん、脳腫瘍、骨軟部腫瘍の患者への作業療法を実施。

■佐々木 寛 東京慈恵会医科大学附属柏病院 産婦人科診療部長・教授

75 年東京慈恵会医科大学卒。81 年ペンシルバニア大学放射線治療部に留学（客員準教授）。帰国後、同産婦人科学教室講師、同大学附属病院診療医長等。05 年より現職。10 年より東京医科大学兼任教授。

■北村 薫 医療法人社団ナグモ会 ナグモクリニック福岡 院長

87 年佐賀医大卒後九大講師、九州中央病院副院長を経て現職。06 年日本乳癌学会北村班でリンパ浮腫の実態調査。08 年弾性着衣・包帯の保険収載の実現と同時に LETTA を設立して人材育成に着手。09 年リンパ浮腫療ガイドライン編集。13 年第 37 回日本リンパ学会会頭。

■河村 進 国立病院機構四国がんセンター 外来部長

04 年四国がんセンターでリンパ浮腫外来を開設。がん医療の質向上を目指した基本がんクリニカルパス作成と公開に関する研究班班長としてリンパ浮腫基本パスを作成し、がん情報サービス HP に掲載。リンパ浮腫標準治療を啓発している。

■田口 智章 九州大学大学院医学研究院小児外科学分野 教授

79 年九州大学医学部医学科卒。80 年同病院にて小児外科、救急部、集中治療部研修。マックギル大学モントリオール小児病院留学、イスラマバード小児病院技術指導等を経て、98 年九州大学病院周産母子センター助教授。06 年現職。13 年同大学医療系統合教育研究センター長兼任。

■光嶋 勲 東京大学医学部形成外科・美容外科 教授

76 年鳥取大学医学部卒。83 年筑波大学臨床医学系形成外科講師、90 年川崎医科大学形成外科にて助教授。96 年ハーバード大学留学後、00 年岡山大学医学部形成再建外科教授。04 年から現職。スタンフォード大学・バルセロナ大学両客員教授。

■岩瀬 哲 東京大学医学研究所附属病院緩和医療科 特任講師

94 年埼玉医科大学医学部卒業後、96 年同大学総合医療センター放射線科助手。東京大学医学部附属病院放射線科医員、同大学医学部附属病院緩和ケア診療部助手を経て、03 年同大学医学部附属病院緩和ケア診療部副部長兼任。12 年より現職。

■奥 朋子 千葉大学医学部附属病院看護部 看護師長

千葉大学看護学部を卒業後、千葉大学医学部附属病院産科婦人科病棟、外科系（乳腺・甲状腺外科、消化器外科、心臓血管外科）病棟、教育・研修室勤務を経て、現職。06 年日本看護協会認定 がん看護専門看護師取得。

■満田 恵 静岡県立静岡がんセンターリハビリテーション科 理学療法士

01 年昭和大学医療短期大学理学療法学科卒業。AFPDLM（フランス DLM 技術者協会）指定：Drainage lymphatique manuel et pose de bandages 修了。04 年より現職。リンパ浮腫ケアにおいては、婦人科癌の予防期から終末期への関わりを中心に従事。

■作田 裕美 大阪市立大学大学院看護学研究科 教授

愛媛大学医学部看護学科卒。広島大学病院看護師、山口大学助手、滋賀医科大学准教授（07 年、滋賀医大病院にリンパ浮腫外来を開設・担当）、京都大学准教授を経て現職。

■廣田 彰男 医療法人社団 広田内科クリニック 理事長

72 年北海道大学医学部卒業後、同年東邦大学医学部第三内科入局。88 年東京労災病院第三内科部長（循環器）、91 年東京専売病院第二内科部長（循環器）を経て、02 年より広田内科クリニック開業。